

### 学校関係者向け広報活動

#### －東京都小学校社会科研究会による東京港体験乗船“K”LINE 東京コンテナターミナル見学等－

当協会は、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。特に教師・児童など学校関係者向けには、海運関連施設の見学会をはじめとした活動を、他業界とも連携し実施しております。

7月25日（木）に、石油連盟と共催で、東京都港湾局、ダイトコーポレーション、川崎汽船等の協力を得て、東京都小学校社会科研究会を対象とした見学会を実施し、約35名の先生方が参加しました。

当日は、竹芝栈橋より視察船「新東京丸」に乗船し、海側から航行中・荷役中の商船等を間近に、東京港内を見学しながら、東京港の役割や各商船の特色等について理解を深めていただきました。

“K”LINE 東京コンテナターミナルでは、どのように国内から運ばれる荷物が仕分けされ海外へ運ばれるか、また、同ターミナルが首都圏の生産・消費活動を支える玄関口として機能していること等について説明した後、ターミナル内を構内バスで移動し、ガントリー



ークレーンでコンテナがターミナルから停泊中の船へ運び込まれる様子を見学するとともに、多数のコンテナがトラックで運ばれている様子を見ました。さらに、屋上から施設を見学、「コンテナは会社ごとや中身ごとにちがうのか」「どのようなものがコンテナによって多く運ばれているのか」等多くの質問が寄せられました。

午後には石油連盟による案内の下、JXTG エネルギー川崎製油所を見学しました。

参加した先生方からは、「ガントリークレーンの大きさや精密な動きに驚いた」「日本における海運の重要性を再認識した」「今回学んだことを授業に取り入れ、海運の重要性を生徒たちにも伝えていきたい」などのコメントが寄せられました。

見学会を通じて、先生方に「海運の重要性」についてご理解いただき、授業で児童が考え・学ぶことの一助となることを期待するとともに、今後も積極的に学校関係者向けの広報活動に取り組んでまいります。

